

”深海魚 ディープ・ブルー”ビルケン=シュタット — Birken = Schtadt

■ データ

年齢 / 性別

56 歳 / 男

所属

UGN

ワークス / カヴァー

UGN 支部長 / 武蔵蓮沼高校教頭 (UGN ドイツ支部エージェント)

オーヴァード能力

別空間に繋がる「口」を作り出す能力

シンдрローム

オルクス / キュマイラ

エフェクト

《絶対の空間》 《第2の口》 《魔獣の咆哮》 《縛鎖》
《要の陣形》 《破碎の顎》
《大地の加護》 《幸運の守護》
《猫の道》 《復讐の領域》 《力の法則》

■ 解説

UGN ハンブルク支部の支部長だった人物。表向きの顔はプロダクションを兼ねる音楽会社の社長であり、その社会的・経済的地位と卓越した社交・交渉・情報収集能力、さらに独特なオーヴァード能力を持つ。その力を見込んだ UGN ドイツ支部長フォイツァー=シュミット

にヘッドハンティングされ、ドイツ支部所属のエージェントとなる。優雅で冷静沈着な老紳士であり、落ち着きと人の温かみを感じる雰囲気があるが、自分のことになるとシニカルな見方をする。

フォイツァー及びその部下達が UGN 武蔵蓮沼支部に監査へ入ると同時に、別ルートで武蔵蓮沼にやって来る。フォイツァーには武蔵蓮沼支部への監査という目的の裏にもう一つ目的があった。それはビルケンの能力を使い、ビルケン自身をエサにして FH 研究者本条 正道をおびき出す作戦だった。もちろんビルケンの命は捨て駒として。途中まではフォイツァーの思うと通りに作戦は進んだが、結果ビルケンが命を落とすことはなかった。そこにはかつて表の顔として出会い、その歌声に将来性を見込んだ少年御山 翔の成長した姿があった。彼はビルケンを守りきり、光条で本条 正道を撃った。

フォイツァーらはドイツへ戻ったが、ビルケンは武蔵蓮沼市に残っている。武蔵蓮沼高校の教頭「南部 哲夫」として。任務のためもあるだろうが、若者達の未来を見届けたと思っている。

■ 関連トピックス

- ・ユニバーサル・ガーディアンズ・ネットワーク（UGN）
- ・本条 正道
- ・フォイツァー＝シュミット
- ・EX レネゲイドの応用